

「海洋の環境変化に 地域はどう対応していくか？」

日時：2026年10月7日（水） 14:30～17:20

場所：岩手大学釜石キャンパス1階セミナー室

オンライン同時配信 ※現地定員：40名

三陸沿岸では、近年、海洋環境の変容が水産業や地域社会に様々な影響を及ぼしつつあります。南下しにくくなった親潮、北上する黒潮統流、沿岸まで及ぶ海洋熱波——本交流会では、黒潮・親潮の予測に関する研究者や、大気・海洋環境の持続可能性をさぐる「ハビタブル日本」を牽引する研究者など、国内第一線の研究者が一堂に会します。

三陸の海で何が起き、我々はどのように対応すべきか？ 最新の研究成果を共有し、地域の関係者が今後取り組むべき課題と連携の可能性を考えます。

《基調講演》 14:35～15:30

南下しない親潮、北上する黒潮

国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)

情報地球科学研究部門(REIS)アプリケーションラボ(APL)

主任研究員 美山 透 氏

《講演》 15:30～15:55

「ハビタブル日本」プロジェクトのご紹介

国立大学法人東京大学 大気海洋研究所 教授 岡 英太郎 氏

《講演》 15:55～16:20

三陸沿岸の海流・潮流の構造と最近の温暖化

国立大学法人東京大学 大気海洋研究所 准教授 田中 潔 氏

《パネルディスカッション》 16:30～17:20

「海洋の環境変化に地域はどう対応していくか？」

パネリスト

海洋研究開発機構(JAMSTEC)

東京大学大気海洋研究所

東京大学大気海洋研究所

岩手大学三陸水産研究センター

モデレーター

東京大学大気海洋研究所

美山 透 氏

岡 英太郎 氏

田中 潔 氏

下瀬 環 氏

藤井 賢彦 氏

お申込みはこちらから



※終了後、釜石市内にて情報交換会（会費制）を開催します

講師紹介



美山 透（みやま とおる）

海洋研究開発機構(JAMSTEC) 主任研究員

<略歴>

京都大学理学研究科博士課程修了。専門は海洋物理学。黒潮・親潮など海洋循環、海洋モデリングを中心に、海況変動の理解に取り組む。海洋情報サイト「黒潮親潮ウォッチ」の執筆も担当し、研究成果の発信と社会応用に貢献している。



岡 英太郎（おか えいたろう）

東京大学大気海洋研究所 教授

<略歴>

1970年生まれ。2000年東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻博士課程修了。博士(理学)。海洋研究開発機構を経て、2006年東京大学海洋研究所講師、2024年同大気海洋研究所教授。専門は海洋物理学。主に観測的手法により海洋の大規模循環や大気海洋相互作用に関する研究を行っている。日本海洋学会理事。学術変革領域研究(A)「ハビタブル日本」(2024~28年度)代表。趣味はサッカーと温泉と酒。



田中 潔（たなか きよし）

東京大学大気海洋研究所 准教授

<略歴>

2000年、京都大学大学院修了、博士(理学)。2011年、東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターに着任、准教授。観測と数値シミュレーションによって、三陸をはじめとする全国沿岸の海流・潮流や、黒潮の変動を調べている。ウェブサイト「大槌湾海洋環境リアルタイムモニタリング」にて、三陸の海洋環境情報を発信中。大槌町在住。

お申し込み方法

下記のいずれかでお申し込みください

①右のQRコード(二次元バーコード)から

②下記URLから

<https://forms.cloud.microsoft/r/d7NxftZ3h6>

③問い合わせ先へFaxまたメールから

※お名前、ご所属、ご役職、参加方法をお知らせください



会場アクセス

岩手大学釜石キャンパス(岩手県釜石市平田3-75-1)

【車の場合】:釜石駅前から約15分

【バスの場合】:岩手県交通「上平田バス停」から徒歩約15分

【鉄道の場合】:三陸鉄道南リアス線「平田駅」から徒歩約20分

<お問い合わせ先>

運営事務局:岩手大学釜石キャンパス事務局 担当 丹野

電話:0193-55-5691、Fax:0193-36-1610

メール:kamaishi@iwate-u.ac.jp

